

第 49 期 決 算 公 告

平成28年6月24日

東京都江東区東陽七丁目2番14号
株式会社日立トラベルビューロー
取締役社長 大谷 一彦

貸 借 対 照 表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流 動 資 産	7,389,470	流 動 負 債	4,064,993
現金及び預金	24,881	買掛金	3,424,474
売掛金	2,120,986	リース債務	4,521
商品及び貯蔵品	14,944	未払金	123,867
繰延税金資産	75,789	未払費用	213,282
預け金	4,737,275	未払法人税等	93,395
前払費用	359,294	未払消費税等	12,580
その他	78,300	前受金	14,986
貸倒引当金	△ 22,000	預り金	154,917
		その他	22,967
固 定 資 産	596,375	固 定 負 債	692,629
有形固定資産	22,489	リース債務	8,210
建物	6,323	退職給付引当金	638,479
工具、器具及び備品	3,434	役員退職慰労引当金	45,940
リース資産	12,731		
無形固定資産	216,578	負 債 合 計	4,757,623
ソフトウェア	207,389	【純資産の部】	
その他	9,189	株 主 資 本	3,225,046
投資その他の資産	357,308	資 本 金	100,000
投資有価証券	9,713	利 益 剰 余 金	3,125,046
関係会社株式及び出資金	20,000	利 益 準 備 金	25,000
繰延税金資産	236,159	その他利益剰余金	3,100,046
差入保証金	88,274	別 途 積 立 金	2,509,000
その他	4,161	繰越利益剰余金	591,046
貸倒引当金	△ 1,000		
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	3,176
		その他有価証券評価差額金	3,176
資 産 合 計	7,985,846	純 資 産 合 計	3,228,223
		負 債 純 資 産 合 計	7,985,846

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- | | | |
|-----|---|--|
| (1) | 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券
子会社株式及び関連会社株式
その他有価証券(時価のあるもの) | 償却原価法
移動平均法に基づく原価法
期末決算日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) |
| | 〃 (時価のないもの) | 移動平均法に基づく原価法 |
| (2) | たな卸資産 | 移動平均法に基づく原価法(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております) |

2. 固定資産の減価償却の方法

- | | | |
|-----|------------------------------------|---|
| (1) | 有形固定資産(リース資産を除く) | 定額法 |
| (2) | 無形固定資産(リース資産を除く) | 定額法 |
| (3) | リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産 | 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。 |
| | 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 | リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうちリース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。 |

3. 引当金の計上基準

- | | |
|-----|--|
| (1) | 貸倒引当金
期末債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 |
| (2) | 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
① 退職給付見込額の期間帰属方法
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。
② 数理計算上の差異の費用処理方法
数理計算上の差異は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間(12~23年)による定額法により、翌事業年度から費用処理しております。 |
| (3) | 役員退職慰労引当金
役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。 |

4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(当期純損益金額)

当期純利益 : 375,721千円